

記載例を参照の上、ご記入ください。

企業・団体名(長野県農業協同組合中央会)

(様式第3号)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30様式改定】

カテ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる雇用条件で差別を行わないことを都度確認。職員へは人権教育等を行う体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			セクハラ、マタハラ、パワハラ等は認めない諸規程の整備、またコンプライアンス研修を実施。ヘルプラインを開設し相談体制を整備している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			長時間労働防止に向け、専務理事による訓示や労働組合との意見交換、日々勤怠管理システムによる労働時間の適切な把握に取り組んでいる。また、ストレスチェックを実施している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			コンプライアンス研修において、人権侵害等の理解を深めている。また、コンプライアンス・マニュアルの「行動規範」遵守の徹底に取り組んでいる。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			労働時間中の事故等を防ぐため、安全衛生委員会においてヒヤリハットの確認や産業医による職場巡回を実施し、安全で衛生的な労働環境に取り組んでいる。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			労働者の長時間労働防止と合わせて、ストレスチェックの基本方針を定めるとともに実施を行っている。また、ヘルプラインを開設し、メンタルヘルスを良好に維持できるように取り組んでいる。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			時差出勤、テレワークなど多様な人材が活躍できる環境の整備に取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			人材育成方針に基づき、職員に応じた能力開発支援制度や階層別の教育研修制度・認証試験の実施により資格取得奨励や教育訓練の機会を設けている。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			各関連法規制に基づき、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備、対応を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレン ジ			職員による運動クラブの設置や健康保険組合と連携したウォーキング推奨(アプリ連動)など、健康の維持管理・生産性の向上等に取り組んでいる。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物について、直富商事(株)と委託契約を結び都度内容を確認し適切な処理に取り組んでいる。											11.6	12.4		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			使用量を把握し、昼食時の消灯やLED化、ペーパーレス化の推進により削減に取り組んでいる。							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			使用量を把握し、昼食時の消灯やLED化、ペーパーレス化の推進により削減に取り組んでいる。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令等で定められている有害化学物質の調査を実施し、適切な処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			「JA長野県グループとしてのSDGsへの取組方針」を組織決定し、持続可能な食と地域づくりの視点を展開し、農業を通じ生態系維持の環境保全や農薬・肥料の適切な使用、廃プラの回収等の取り組みを各JAの事業計画へ展開している。						6.6								15			
	【 3 R の推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			「JA長野県グループとしてのSDGsへの取組方針」を組織決定し、持続可能な食と地域づくりの視点を展開し、農業を通じ環境保全や廃プラの回収等に配慮した取り組みを各JAの事業計画へ展開している。										12.5		14.1					
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			「JA長野県グループとしてのSDGsへの取組方針」を組織決定し、持続可能な食と地域づくりの視点を展開し、農業や水田管理を通じ水資源の環境保全に取り組んでいる。						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ						3.9			6	7				12	13.3	14	15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ													12.6							
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ										7.2					13					
【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ														12.2	13	14	15				
公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			「コンプライアンス・マニュアル」に基づき経営層の取り組み姿勢及び経営理念や役職員全員が守るべき基本方針等を定めている。また、専務理事訓示・研修会を通じ「行動規範」の徹底・理解促進に取り組んでいる。															16 16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			「コンプライアンス・マニュアル」に基づき経営層の取り組み姿勢及び経営理念や役職員全員が守るべき基本方針等を定めている。また、専務理事訓示・研修会を通じ「行動規範」の徹底・理解促進に取り組んでいる。															16		
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			「コンプライアンス・マニュアル」に基づき経営層の取り組み姿勢及び経営理念や役職員全員が守るべき基本方針等を定めている。また、専務理事訓示・研修会を通じ「行動規範」の徹底・理解促進に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			「個人情報保護方針」や各取扱規程類の整備を行っている。また、「情報セキュリティ基本方針」に基づき、個人情報の適切な管理に取り組んでいる。															16		
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			紛争鉱物は取り扱っていない。																16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ								5				8		10		12	13	14	15	16
【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表について検討している			3					8	9	10							17

						主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
チェック項目		取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			JA長野県グループとして「みんなのよい食プロジェクト」の展開や地域の「JAファーマーズマーケット」の活性化などを通じて、地産地消をすすめ、地元の安心・安全な県産農産物の消費拡大に取り組んでいる。			3.9									12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			JA長野県グループとして「みんなのよい食プロジェクト」の展開や「おいしい信州ふーどキャンペーン」と連携し、地域の直売所活性化などを通じて、地元の地産地消をすすめ安心・安全な県産農産物の消費拡大に取り組んでいる。									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ									6						12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			JA長野県グループとして「みんなのよい食プロジェクト」を通じて「環境」によい食、「地域」によい食、「身体」によい食、の浸透を図っている。 また、農業生産基盤の支援や労働力確保に向け「労働力支援センター」と連携し地域の食を守る活動を進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			「JA長野県グループとしてのSDGsへの取組方針」を組織決定し、土壌診断の推進や防災・地方公共団体、遠隔JA等との防災協定の締結等の減災の取り組みを各JAへ展開している。				4					9		11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ							4							11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ											8	9		11	12	13					
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			「コンプライアンス・マニュアル」に基づき経営層の取り組み姿勢及び経営理念や役職員全員が守るべき基本方針等を定めている。また、専務理事訓示・研修会を通じ「行動規範」の徹底・理解促進に取り組んでいる。									8	9							17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			各法令遵守のコンプライアンス研修会等を通じ職員教育を行うとともに、各種規程は、イントラネットに掲載し共有できる仕組みを構築している。																16		
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			総務企画部において体制を整備している。																	16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（ ）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（ 利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体 ）	基本			内部、外部ともに体制を整備し、地域JA・連合会へ各部署が適切に対応している。																16	17	
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																				16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																				16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ													9		11		13 13.1			16	
【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ												8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（ ）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（ 職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（ 1 ）、RBA（Responsible Business Alliance）（ 2 ）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - 1 ...組織の社会的責任に関する国際規格
 - 2 ...労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定